

貸借対照表

(2023年12月31日現在)

株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産	1,009,137	I 流動負債	2,220,651
現金及び預金	392,042	買掛金	22,710
受取手形	383	工事未払金	26,230
電子記録債権	4,520	短期借入金	1,627,570
売掛金	87,260	1年内償還予定の社債	100,000
完成工事未収入金及び契約資産	208,933	1年以内返済予定長期借入金	310,620
商品及び製品	12,252	未払金	57,342
原材料	26,355	未払費用	2,834
貯蔵品	1,402	未払法人税	28,140
未成工事支出金	3,358	契約負債	16,833
仕掛販売用不動産	184,810	預り金	10,646
前払費用	24,893	仮受金	220
前渡金	3,798	賞与引当金	14,699
未収入金	45,356	工事損失引当金	2,705
立替金	9,816	その他	100
仮払金	7,902	II 固定負債	3,058,896
貸倒引当金	△ 3,949	社債	650,000
II 固定資産	6,267,658	長期借入金	1,987,917
1.有形固定資産	5,927,888	資産除去債務	279,073
建物	5,442	長期未払金	19,226
建物付属設備	3,626	長期繰延税金負債	121,479
構築物	45,973	その他	1,200
機械及び装置	4,415,000	負 債 合 計	5,279,548
車両運搬具	0	I 株主資本	1,991,859
工具器具及び備品	142	1.資本金	100,000
リース資産	0	2.資本剰余金	1,561,235
土地	616,110	資本準備金	1,525,000
建設仮勘定	841,592	その他資本剰余金	36,235
2.無形固定資産	0	3.利益剰余金	330,624
特許権	0	その他利益剰余金	330,624
ソフトウェア	0	繰越利益剰余金	330,624
3.投資その他の資産	339,769	II 評価・換算差額等	5,387
投資有価証券	38,772	その他有価証券評価差額金	5,387
出資金	20		
関係会社出資金	5,591		
敷金	9,003		
長期差入保証金	10,329		
保険積立金	7,047		
長期前払費用	130,230		
長期滞留債権	10,991		
長期繰延税金資産	138,774		
		純資産合計	1,997,247
資 産 合 計	7,276,795	負債・純資産合計	7,276,795

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準および評価方法

棚卸資産の評価基準および評価方法

商品 : 最終仕入原価法 (貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

未成工事支出金 : 個別法による原価法

2. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く) : 定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備は除く)、2016年4月1日以降に取得した建物付属設備、構築物および太陽光発電設備については定額法

(2) 無形固定資産(リース資産を除く) : 定額法

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

(2) 役員賞与引当金

役員の賞与の支給に備えるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。

(3) 貸倒引当金

債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。

4. 収益および費用の計上基準

(1) 商品及び製品の販売

当社は太陽光及び小形風力発電事業、バイオディーゼル事業及び水熱処理事業にて販売取引を行っております。これらの販売については、主として顧客に商品及び製品それぞれを引き渡した時点で、顧客に商品及び製品の法的所有権、物理的占有、商品及び製品の所有に伴うリスク及び経済価値が移転し、支払を受ける権利が確定します。ただし、当該商品及び製品の出荷から引き渡しまでの期間がごくわずかであることから、出荷時点で収益を認識しております。取引の対価は、履行義務を充足してから主として1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでおりません。

(2) 工事契約

当社は太陽光発電設備の工事取引を行っております。これらの工事契約については、進捗度を合理的に測定できないため原価回収基準を適用しております。また、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。取引の対価は、主として、履行義務の充足とは別に契約期間中に段階的に受領するとともに、残額については履行義務を全て充足したのち概ね1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでおりません。

(3) 保守契約

太陽光発電設備のメンテナンス契約を行っております。これらのメンテナンス契約については、履行義務が時の経過にわたり充足されるため、契約期間に応じて均等按分し、収益を認識しております。取引の対価は、主として、受注時から履行義務を充足するまでの期間における前受金の受領、又は履行義務充足後の支払を要求しております。履行義務充足後の支払は、履行義務の充足時点から概ね1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでおりません。

当期純損益

当期純利益は 56,270 千円であります。

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。